

ジンバブエ経済（経済情報の週間とりまとめ：8月第3週目）

- 1 2025 年上半期外貨収入は前年同期比 23.1%増
- 2 （社説）極端な金融引き締め政策は通貨安定化の一方で経済成長を阻害
- 3 好調なマクロ経済指標も国民生活の向上に繋がらず、格差が深刻
- 4 ディンソン鉄鋼社（DISCO）を中心としたスマートシティの建設計画
- 5 政府がアフリカ緑の革命のための同盟（AGRA）と連携し農業変革プログラムを策定
- 6 ジンバブエ証券取引所（ZSE）に2つ目の不動産投資信託（REIT）上場

1 2025 年上半期外貨収入は前年同期比 23.1%増

2025 年上半期外貨収入は前年同期比 23.1%増の 72 億 5000 万米ドルに達した。輸出収入（特に金とプラチナ）の増加と、ディアスポラからの送金増加が主な要因である。鉱業輸出は前年同期比 38.6%増の 28 億 1000 万米ドル。専門家らは、この好調な外貨収入をジンバブエの競争力向上と正規送金チャネルへの信頼向上と評価し、経済の安定に繋がると期待している。（15 日付ヘラルド紙ビジネス 1 面）

2 （社説）極端な金融引き締め政策は通貨安定化の一方で経済成長を阻害

ジンバブエでは、深刻な現金不足と高インフレにより、人々がベッドや冷蔵庫などの家庭用品を担保に高金利融資を受け、生き延びるために資産を売却せざるを得ない状況にある。ジンバブエ中央銀行（RBZ）は、高金利政策による通貨安定化を図る一方で、その政策が経済成長を阻害し、人々の生活を圧迫しているというジレンマに直面している。RBZ は規制強化や消費者保護を謳うものの、タカ派的な金融政策は企業の成長や雇用創出を阻害し、非正規経済の拡大を招いている。持続可能な経済成長なくして通貨安定は不可能であり、RBZ は通貨防衛から、適度な金利、ターゲット型融資、非正規経済への対応といったバランスの取れた政策ミックスへの転換が必要である。さもなければ、ジンバブエの通貨は再び失敗するだろう。（15 日付ニュースデイ紙社説）

3 好調なマクロ経済指標も国民生活の向上に繋がらず、格差が深刻

ジンバブエ経済は好況にあると発表されているものの、国民の多くは生活の改善を実感しておらず、深刻な格差が問題となっている。政府発表の GDP 成長率や外貨流入増加、インフレ抑制などの好調な経済指標とは裏腹に、停電による産業の停滞、中小企業の苦境、高失業率、現金不足などが現実として存在する。専門家らは、公務員の膨張、関税徴収の非効率性、成長の恩恵が限られた部門に集中していることなどを問題点として指摘する。成長は主に輸出部門に集中しており、その富が国内経済全体に波及するメカニズムが不足しているため、国民の大多数は依然として困難な状況にある。この格差は、経済の脆弱性を増し、社会不安につながる可能性があるため、持続可能な経済成長と国民生活の改善のための抜本的な政策転換が求められている。（15 日付インディペンデント紙 1 面）

4 ディンソン鉄鋼社 (DISCO) を中心としたスマートシティの建設計画

マニゼに、15 億米ドル規模のディンソン鉄鋼社 (Dinson Iron and Steel Company、DISCO) の工場を中心とした、パンアフリカ科学大学とスマートシティを建設する計画が最終段階にある。この開発は、産業、住宅、教育、デジタルインフラを統合したエコシステムを構築し、2 万 5000 人の直接雇用と 15 万人の間接雇用を創出すると予想されている。さらに、地元資源の活用、経済特区 (SEZ) 指定による投資促進、そして持続可能なコミュニティ構築のための学校や診療所の建設なども計画されている。DISCO の CEO は、このプロジェクトがジンバブエとアフリカのモデルケースとなることを目指していると述べた。(17 日付サンデーメール紙 1 面)

5 政府がアフリカ緑の革命のための同盟 (AGRA) と連携し農業変革プログラムを策定

土地・農業・水産・水・農村開発省は、アフリカ緑の革命のための同盟 (AGRA) と連携し、「ジンバブエ・レガシー・プログラム (別名ジンバブエ農業変革プログラム (ZIPAT))」を通じて農業の変革を目指す。これは、2025 年末までに農業部門を 137 億 5000 万米ドル規模に拡大し、食料安全保障を確保することを目指す計画である。7 つの主要バリューチェーン (トウモロコシ、大豆、ヒマワリ、ブルーベリー、酪農、牛肉、家禽) に焦点を当て、データに基づいた投資ロードマップと州農業投資計画 (PAIP) によって支えられる。このプログラムは、国家開発戦略 (NDS) と農業・食料システム・農村変革戦略 (AFSTS) に沿っており、生産性向上、経済成長、持続可能な農業部門の構築を目指す。アフリカ食料サミット (Africa Food Summit、8 月 31 日～9 月 5 日、ダカール) で発表予定。(18 日付ヘラルド紙ビジネス 1 面)

6 ジンバブエ証券取引所 (ZSE) に 2 つ目の不動産投資信託 (REIT) 上場

ジンバブエ証券取引所 (ZSE) は、新設されたレヴィタス不動産投資信託 (REIT) の上場により、取引所の成長と拡大に弾みがつくと期待している。レヴィタス REIT は、不良物件の再生と投資家への価値提供を目的とし、ジンバブエ国鉄 (NRZ) 年金基金から 800 万米ドルの初期投資を受ける予定だ。ZSE は、REIT の導入を市場活性化の重要な戦略と位置づけ、追加の REIT や ETF の上場を目指し、政府への税制優遇措置の働きかけなども行っている。REIT は、特に年金基金にとって税制上の効率性というメリットがあり、投資資金の増加が見込まれる。レヴィタス REIT は、ZSE における 2 つ目の REIT となる。(20 日付ヘラルド紙ビジネス 1 面)